

草原がつなぐ人・自然・文化

# 全国草原再生ネットワーク

ニュースレター vol.42 (Apr. 2020)



菅生沼の野焼き（茨城県常総市）

## 第13回全国草原サミット・シンポジウムの延期について

2020年9月27日(日)～28日(月)に予定されていた「第13回全国草原サミット・シンポジウム in 東伊豆大会」ですが、新型コロナウイルス感染拡

大防止のため延期となりました。

延期後の予定については、今後の状況がわかり次第、お知らせしたいと思います。



## 各地からの報告

### 新型コロナウイルスの影響で中止や延期になった草原の火入れ一覧

(横川昌史：京都府在住)

世界各地で新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っています。各地のイベントが中止になる中、草原の火入れが中止になった例がいくつかあったので、暫定的ですが2020年3月25日時点の情報を記録しておきます。GoogleやTwitterで、「コロナ」「火入れ」「山焼き」「野焼き」「ヨシ焼き」「中止」などのキーワードを組み合わせて検索し、出てきた情報を集めました。同じイベントについて、様々なソースが得られた場合、一つだけ選んで一覧に加えましたが、なるべく実施主体等が発信する情報を選びました。なお、下記一覧のURLは2020年3月25日時点でリンクが切れていないことを確認しています。

2020年3月25日時点で新型コロナウイルスの影響で中止になった火入れは9件、延期になった火入れは1件、見学の自粛要請等、参加者を厳選して関係者のみで実施した火入れは2件でした。いずれの

事例でもインターネット上では、中止に至った経緯は記されていません。そのため、火入れの作業自体が新型コロナウイルスの感染を拡大すると考えて中止にしたのか、市町村等が関わるイベントは一律中止となったのか、自粛ムードを考慮して中止にしたのか、などなど中止にした根拠はわかりません。火入れを実施した場所も含めて、それぞれの実施主体等に聞き取りなどを行えば、中止の理由がはっきりしてくると思われます。

下記の一覧をまとめるにあたり、太田陽子さん、橋本佳延さん、横田潤一郎さん、西廣 淳さんには様々な情報をいただきました。ありがとうございます。また、これらの情報はまだまだ暫定版で、今後、新型コロナウイルスの影響で中止になる火入れは増えると思われます。今後も調査を続ける必要があると思います。

・新型コロナウイルスの影響で中止になった火入れ一覧

【大阪府】鶴殿のヨシ原焼き 2020年2月23日実施予定を中止 [https://takatsuki.goguyonet.jp/2020/02/15/yoshiharayaki\\_jisshi\\_enki/](https://takatsuki.goguyonet.jp/2020/02/15/yoshiharayaki_jisshi_enki/)

【長崎県】鬼岳園地山焼き 2020年2月29日実施予定を中止 <http://machi.jpubb.com/press/2857358/>

【茨城県】霞ヶ浦 妙岐ノ鼻のヨシ焼き 2020年2月29日実施予定を中止 <https://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00742.html>

【山口県】むつみ演習場野焼き 2020年3月6日実施予定を中止 <https://twitter.com/hagisb-soumu/status/1235411446697099266?s=20>

【山口県】秋吉台の追加の山焼き 2020年3月8日実施予定を中止 [http://akiyoshidai.org/PJ-2019/Schedule2019\\_fire.html](http://akiyoshidai.org/PJ-2019/Schedule2019_fire.html)

【神奈川県】箱根 仙石原の山焼き 2020年3月10日を3月16日に延期したのち中止 <http://www.sengokuhara.net/>

【和歌山県】生石高原の山焼き 2020年3月15日実施予定を中止 <https://www.town.aridagawa.lg.jp/top/event/5131.html>

【新潟県】福島潟のヨシ焼き 2020年3月15日実施予定を中止 [www.pavc.ne.jp/~hishikui/event/event/yoshiyaki/index.html](http://www.pavc.ne.jp/~hishikui/event/event/yoshiyaki/index.html)

【群馬県】多々良沼のヨシ焼き 3月18日実施予定を中止 <https://tataranuma.com/ヨシ焼き中止のお知らせ/>

・新型コロナウイルスの影響で延期になった火入れ一覧

【愛媛県】塩塚高原の山焼き 3月29日実施予定を4月12日に延期 <http://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/soshikikara/keizaibu/kkk/yamayaki2020.html>

・新型コロナウイルスの影響で見学の自粛要請等があった火入れ一覧

【山口県】きらら浜自然観察公園のヨシ焼き 2020年3月7日に一般参加者の募集を中止し、関係者のみで実施 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/202003/045794.html>

【栃木県等】渡良瀬遊水地のヨシ焼き 3月21日に実施し、見学の自粛要請 [https://watarase.or.jp/new\\_info/detail/416](https://watarase.or.jp/new_info/detail/416)



神奈川県 仙石原のススキ草原



山口県 秋吉台の山焼き

## 茨城県 菅生沼の野焼きに参加しました

(ネットワーク事務局)

菅生沼は、茨城県西部、坂東市と常総市の境界に位置する沼で、南北に約 5km、東西の幅は約 200～500m の細長いかたちをしています。沼の大部分は、ヨシやオギなどが生える湿地になっており、その中には、常総市の天然記念物に指定されているタチスミレの群生のほか、様々な絶滅危惧植物が確認されています。これらの植物を保全するために、茨城県自然博物館、地元の「菅生沼を考える会」などにより、毎年 1 月に野焼きが行われています。

このたび、野焼きに参加する機会がありましたので、その様子を報告します。

2020 年の野焼きは 1 月 26 日に行われ、菅生沼を考える会などから約 200 名の人々が集まりました。これほど多くの方が集まるとは知りませんでしたので、その人数に驚きました。朝 9 時から開会式が開かれ、考える会の会長、常総市長などの挨拶の後、博物館の小幡さんから作業内容の説明がありました。

最初の作業は防火帯刈りでした。野焼きの範囲は約 3ha で、その周辺に幅数 m の防火帯を作ります。付近にはヤナギの立木があり、これらが燃えないように、ヤナギの周辺も広めに刈られます。まず、刈り払い機での作業が入り、その後、苧草をよけていく作業が入ります。約 1 時間の作業で、大変きれいな防火帯ができました。マンパワーの偉大さを感じることができました。



開会式の様子

火を入れる前には、岐阜大学の津田先生から、野焼きの役割などについて講話がありました。10 時半から火入れが始まりました。火を付ける作業は、作業に慣れた関係者の方が実施し、大部分の参加者は、少し離れた場所から、火の様子を見学します。開始時にはやや湿り気があったためか、燃え残りがある箇所もみられました。徐々に乾燥してきたのでしょうか、後半はきれいに燃え、12 時には予定の範囲の作業が終わりました。

春になってタチスミレが咲く様子を見てみたいものです。参加にあたっては、茨城県自然博物館の小幡さんをはじめ、同館のみなさんのお世話になりました。お礼申し上げます。



防火帯刈りの様子



野焼きの様子

## 全国草原リレー（第21回）

ネットワークの会員を中心に、持ち回りで各地の草原を紹介するのが「草原リレー」です。第21回は、理事である志賀氏に、大分県竹田市に広がる久

住高原での野焼きなどの取り組みについて紹介して頂きます。

### 久住高原に春を告げる野焼き

（志賀郁夫：大分県在住／ネットワーク理事）

2020年3月15日、恒例竹田市久住町稲葉牧野組合の野焼きが65名の牧野組合員と8名のボランティアにより実施されました。久住高原野焼きシンポジウム・全国草原サミットを日本で初めて開催した1995年には90名だった組合員も現在では3分の2まで減少し、加えて高齢化が著しく野焼きの存続が危ぶまれています。

さて、昭和7（1770）年に記された久住山記に、「春則為黒色 夏則為青色 秋則為赤色 冬則為白色」～くじゅうの春の色は黒色（野焼きの黒色）、夏の色は青（草木の緑色）、秋の色は赤（木々の紅葉した色）、冬の色は白色（雪の色）と解釈されているように毎年3月に行われる野焼きは、春を前にした風物詩。野焼きは数百年前から続けられており、美しい草原を維持し、希少な生物たちの生息環境を保ってきました。

#### 野焼きで維持されてきた久住高原

古来より牛馬の飼育が行われてきた場所であり、牛馬の飼育に必要な草地の確保のため野焼きが行われてきました。現在見ることができる広大な草地は長い年月をかけ、高原に住む人々の営みと久住高原の大自然の共生により造られたものであり、これらの草地は現在も放牧や採草地として使用されているだけでなく、市を代表する景観として雄大な久住高原を訪れる人々に四季折々の顔を見せてくれています。

現在の竹田市久住地域（合併前の久住町）の野焼き面積は約750ha、うち稲葉牧野は約200haと最も広い面積となっています。

竹田市の人口減少と高齢化は全国に先駆けて進んでおり、中山間地域が多い久住地域は、特にその傾向は著しい。野焼きを行うには、9月20日頃に行う「輪地切り」、9月下旬から10月上旬に行う「輪地焼き」の準備作業が必要であり、担い手不足が大きな課題となっています。



どこの牧野組合も抱える悩みは担い手不足であり、2019年5月31日に牧野組合や自治会、観光業者など32団体で「久住高原を守る会」を設立し、久住



高原の野焼きの維持に向け、ホームページや情報誌による情報発信、自然観察会の企画など取組を始めています。

世界の宝である雄大な草原景観の保全

久住高原は、大分県竹田市（旧久住町）にあります。1934年に指定された大分県と熊本県にまたがる阿蘇くじゅう国立公園に含まれる久住山と大船山の南麓の標高約600～1100mの地域に広がる高原で南西には大カルデラにそびえる阿蘇山の裾野まで雄大

な草原が続いています。この景観は、世界の宝であり、何としてでも守り後世に美しいまま引き継がなければなりません。そのためにも、竹田市役所はもとより久住高原を守る会などの民間団体と協働し、環境省にも協力を求めながら野焼きを存続する体制整備に本気で取り組まなければならないと思っています。

当会の会員、さらには全国で草原景観の保全等にご尽力されている皆様からのご意見やご指導をお願い申し上げます。

## 草原をめぐる動き（2020年4月～2020年7月）

- 4/4 扇山火祭り（場所：大分県別府市扇山、連絡先：別府八湯まつり実行委員会）
- 5月上旬 小清水原生花園 火入れ（場所：北海道斜里郡小清水町、連絡先：小清水町役場）
- 6/13-14 日光土呂部茅場連携作業（場所：栃木県日光市、連絡先：森林塾青水）
- 7/4-5 防火帯刈り（場所：群馬県みなかみ町、連絡先：森林塾青水）
- （以下は中止の行事）
- 4/11 雲月山の山焼き（場所：広島県北広島町 連絡先：西中国山地自然史研究会）
- 4/12 深入山山焼きまつり（場所：広島県山県郡安芸

- 太田町、連絡先：安芸太田町商工観光課）
- 4/25-26 春の風物詩・上ノ原茅場の野焼き（場所：群馬県みなかみ町、連絡先：森林塾青水）
- 5/10 乙女高原の遊歩道づくり（場所：山梨県山梨市牧丘町乙女高原、連絡先：乙女高原ファンクラブ）
- 5/10, 5/23 乙女高原のスマイル観察会（場所：山梨県山梨市牧丘町乙女高原、連絡先：乙女高原ファンクラブ）

※予定が変更になる場合があります。上記以外の情報もホームページで随時公開しています。

### 全国草原再生ネットワーク ニュースレター vol. 42 2020年4月号

全国草原再生ネットワーク事務局  
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 378-14  
大田市ゲストハウス雪見院内 Tel. 0854-82-2727 Fax. 0854-86-8899

【編集後記】各地での火入れの中止、秋の全国草原サミット・シンポジウムの延期など、新型コロナウイルスの影響が広がりつつあります。先の状況が見通せない状況ではありますが、会員のみなさまのご健康を願っております。